

2018（H30）年3月議会 一般質問 5人

1 榎戸 陵友議員

- 1 優秀な子どもや学校の体育表彰式を実施してはどうか
- 2 学校トイレ洋式化について

2 小嶋 完作議員

- 1 師崎避難所（旧ビラマリン）を行政として有効に利用する
考えはどうか

3 服部 光男議員

- 1 内海川の治水に関する将来設計について

4 内田 保議員

- 1 選挙公報を発行するために具体的手続き及び計画をしているか
- 2 避難所としての小中学校・保育所に多目的トイレの設置に向けて
- 3 小中学校教育でのキャンプのバス代の全額補助を
- 4 学校部活動の根本的改革について

5 松本 保議員

- 1 防犯対策として、カメラの設置を



内田 保議員

Q 選挙公報を発行するために、具体的手続き及び計画をしているのか

A 遅くとも9月定例町議会に条例案の提出が必要

選挙公報発行の具 体化について

問 選挙公報発行で、選挙管理委員会と9月以降どのように協議してきたか。

答 中川総務部長 昨年9月以降3回協議し、選挙公報の発行について、選挙管理委員会と議会全員協議会における過去の協議の経緯を報告し、今後、選挙管理委員会でも検討していくことを確認した。

問 議員との意見交換は、いつ実施するのか。

答 中川総務部長 配布方法を慎重に検討し、選挙管理委員会での協議の後、9月より前に選挙公報の発行について議員の皆さんの意見を伺いたい。

問 平成31年1月22日に町長の任期が終了する。町長選挙で選挙公報を発行するためにどのような計画を予定しているか。

答 中川総務部長

選挙公報を発行することになると、選挙公報発行に関する条例の制定及び予算措置が必要となるので、遅くとも9月定例町議会までに条例案を提出するものと考えている。

避難所としての小 中学校・保育所に 多目的トイレの設 置に向けて

問 避難所対策から、小中学校・保育所に最低一つは多目的トイレが必要ではないか。

答 内田教育部長 多目的トイレの必要性は理解できるが、本町の財政状況にかんがみ、避難所としての対応は、仮設トイレや簡易トイレの備蓄を前提に、小中学校・保育所の洋式化などの環境整備として、財源を確保した上で進めることになる。

小中学校教育での キャンプのバス代の 全額補助の実現を

問 知多管内では、半田市・南知多町以外は、キャンプに関わるバス代等について全額補助となっていない。約120万円を追加して全額公費負担できないか。

答 内田教育部長 平成27年度には、バス代の半額補助に加え、離島の船代を全額補助に拡充した。本町の小中学校は、小規模であるため、一人当たりの町補助額は、知多管内市町と大きな差はないととらえている。今後、保護者負担の軽減のための条件整備も含め検討したい。

学校部活動の根本 的改革について

問 安城市・小牧市・知立市等のように南知多町においても朝部活全面廃止で、教師も、子どももゆとりある学校にする通知を出す必要があるか。

答 大森教育長 平成27年1月に各学校へ部活動時間の適正化

について配慮を求め、通知を出している。朝部活についても実情に合わせ、休止も含めて活動を工夫するよう、校長・教頭会議でも話をしてきた。その結果、試験的に朝部活をやめている学校もある。今後、国・県のガイドラインを参考に「部活動に係る方針」を検討する中で考えていきたい。

問 部活動は、学習指導要領では、自主的・自発的なものである。南知多町でも子どもたちの部活動参加・不参加の選択の自由を保障すべきと考えるがどうか。

答 大森教育長 現時点では、選択できるようにするという考えはない。

問 県制度を利用した部活動指導員配置をすべきと考えるがどうか。

答 大森教育長 本町においては、人材の安定確保・指導レベルの維持、人件費の捻出など、多くの課題があり、現時点では困難と考えている。